SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	細川 年春	学校名	大阪市立太子橋小学校
実施学年	5年	教 科	外国語
単元名	Unit6 Where is the library?		

≪学びを深めたいポイント≫

本時では、道案内の表現を題材としており、基本的な道案内の表現と位置を表す前置詞を新たに学ぶことに なる。道案内の前段階として町の施設を表す単語「library」や「museum」などを定着させた後、理想の町や あったらいいなと思う施設を考え、自分にとって理想の町とするにはどのような施設が必要だろうかと考える機 会となる。

また、あったらいいなと思う施設やそこまでの道案内を友だちや ALT に行うことで、道案内の表現「Go straight」や「Turn right」などを聞いたり言ったりして、相手がどのような理想の町を作ったのかを知るという 目的意識をもって取り組むことが期待できる。

«SKYMENU 活用のポイント»

本時では発表ノートを2つの場面で使用する。

Ⅰつ目は前時の振り返りの場面で、児童に町の白地図を貼り付けた発表ノートを配布し、指導者が児童に 「Where is the OO?」の形式で質問させ指導者が「Go straight」や「Turn right」などの表現を使用して それらの施設を案内していく。児童は案内された施設を発表ノートの白地図に貼り付けて町を完成させる。完成 させた後、正解の地図を大型モニターに提示して自分の地図と確認させる。

2つ目は展開の場面で、児童に新たに別の町の白地図を配布する。Iページ目には自分の理想の町の施設 を5つ配置する。2ページ目以降は友だちの名前を書く欄と白地図のままにしておく。自分の理想の町が完成し たら始めはペアでお互いの町の道案内をする。道案内されたら発表ノートに友だちの名前とその友だちの理想 の町の施設を貼り付けていく。タブレットと発表ノートを使用することでこれらの活動がとてもスムーズにかつ活 発に行うことができ、児童の学習意欲向上につながった。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導	I.デジタル教科書の picture		
	dictionary 機能を使って児童に		
入	町の施設の名称を確認させる。		
	2. Let's chant. [「] Where is the		
	station?」で児童は chants 形		
	式で繰り返し道案内の表現方法		
	を練習する。		

	3.本時の学習内容を確認する。		
	生たいの建物の道安内を	Slumonu ブ授業に参加させ 白地	
	ルエに5 700 足初の道来りとし てもらい 白地図を空成させよう	Skyllienu (12米に参加させ、日地 図の数材を配ちする	
	旧音の質問		
	元重97頁內 「Where is the flower shon?」	Second Se	
	[Where is the post office?		
	Where is the bosnital?		
	[Where is the park?		
	Where is the supermarket?		2ページ日にけ町の施設のカ
	北道老		ードを一覧にして貼り付けてお
	Go straight, Mae block,		き そこから施設を1ページ日
	^T urn right, ^T Two blocks		につピーできるようにしておく
	5つの施設の道案内が終わった		資料置き場に入れてしまうと
	ら、児童に正解の地図を配布し	and should be	開いた際に地図が見えにくく
	答え合わせを自分で行わせる。		なるため。また、施設を選んで
			ーページ目にドラッグするだけ
		4 4	という手軽さもある。
展	4.自分の理想の町を作る。	配布した教材の3ページ目以降に自	2ページ目の町の施設のカー
		分の理想の町を配置していく。(施設	ドー覧を3ページ目にも流用す
開		分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。)	ドー覧を3ページ目にも流用す る。
開		分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。)	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ
開		分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。)	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお
開		分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。)	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開		分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。)	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開		分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。)	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開	5. 出来上がった理想の町を見な	分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。)	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開	5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま	分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。)	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開	5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。	分の理想の町を配置していく。(施設 の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を 書く欄と、白地図を用意しておく。	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開	5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の	分の理想の町を配置していく。(施設 の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を 書く欄と、白地図を用意しておく。	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開	5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど	分の理想の町を配置していく。(施設 の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を 書く欄と、白地図を用意しておく。	ドー覧を3ページ目にも流用する。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけておく。
開	5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど こにあるか尋ねてもらう。	分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を書く欄と、白地図を用意しておく。	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開	5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど こにあるか尋ねてもらう。	分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を 書く欄と、白地図を用意しておく。	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開	5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど こにあるか尋ねてもらう。	分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を書く欄と、白地図を用意しておく。	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開 ま	 5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど こにあるか尋ねてもらう。 6. 出来上がった友だちの理想の 	 分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を書く欄と、白地図を用意しておく。 	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。
開 まと	 5.出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど こにあるか尋ねてもらう。 6.出来上がった友だちの理想の 町を提出箱に提出し、お互いの町 	分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を書く欄と、白地図を用意しておく。	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。 提出箱の設定を「学習者どう して提出箱を閲覧できる」にチ
開 まとめ	 5.出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど こにあるか尋ねてもらう。 6.出来上がった友だちの理想の 町を提出箱に提出し、お互いの町 の施設の位置の確認をする。 	分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を書く欄と、白地図を用意しておく。 書く欄と、白地図を用意しておく。 「「「「「「」」」」」」	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。 提出箱の設定を「学習者どう して提出箱を閲覧できる」にチ ェックをつけておく。
開 まとめ	 5.出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど こにあるか尋ねてもらう。 6.出来上がった友だちの理想の 町を提出箱に提出し、お互いの町 の施設の位置の確認をする。 	 分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を書く欄と、白地図を用意しておく。 1000000000000000000000000000000000000	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。 提出箱の設定を「学習者どう して提出箱を閲覧できる」にチ ェックをつけておく。
開 まとめ	5. 出来上がった理想の町を見な がら、友だちにそれぞれの施設ま での道案内をする。 道案内をする際には2ページ目の 施設一覧を見せて、その施設がど こにあるか尋ねてもらう。	分の理想の町を配置していく。(施設の数は5つまでとした。) 4ページ目以降は、友だちの名前を書く欄と、白地図を用意しておく。 書く欄と、白地図を用意しておく。	ドー覧を3ページ目にも流用す る。 町に使用した施設は、2ページ 目の施設一覧に印をつけてお く。 提出箱の設定を「学習者どう して提出箱を閲覧できる」にチ ェックをつけておく。

今回の実践で、子どもたちは町の施設の英語表現にイラストと共に慣れ親しむことができ、また、道案内 の表現も積極的に活用できていました。普段であればあまり積極的に活動に参加できない児童も、ICT 機器を使った活動には興味を持って取り組むことができました。特に SkyMenu の発表ノートは見た目が 分かりやすく、別のページに予めイラストをセットしておけば、資料置き場と違って授業に参加中でなくても 地図に配置できるので、時間内に地図に施設を配置できなかった児童には昼休みなどの時間を使って地 図を作成することができました。

また、画面のみのタブレットでタッチパネルで操作できるのも今回の活動に非常に有効でした。児童はノ ートを持つようにタブレット画面だけを持って歩き回り、友だちに聞いた施設を指で触って簡単白地図にコ ピー・移動できました。今回の活動で児童の学びがさらに深まったと感じました。